



平成29年度南丹美術工芸パートナースクール事業

高校と連携し、児童がより専門的な指導を受けて作品を制作することを通して、美術に関する表現の技能の向上を図るとともに、美術工芸への興味・関心を高め、文化の継承と発展への基礎を培うことをめざして、南丹美術工芸パートナースクール事業を開催しています。

亀岡市立千代川小学校 & 亀岡高等学校

千代川小学校 5年生 80名（3クラス）が亀岡高校 普通科美術・工芸専攻 1年生 32名の生徒から指導を受けて、9月4日（月）、12日（火）の2日間にわたり、風景画の制作に取り組みました。

1日目は、始めに透視図法についての説明を受けた後、子どもたちは校外に出て校舎をモチーフとした風景画の写生に取りかかりました。中にはどこから描き始めればよいのかを迷っている子どももいましたが、高校生から「自分が描きたいところから描いていいよ。」と声をかけられたり、「ここはもう少し小さく描いたほうが立体感が出るよ。」などとアドバイスを受けたりしていました。

2日目は、教室で絵の具の色付けを行ないました。当日は朝方まで警報が発令されていたために、交流した時間は短かったですが、子どもたちは熱心に筆を運んでいました。高校生たちは3つの教室に別れて、小学生の指導に入り、「遠くは薄く、近くは濃くはっきりと描く」ことや「雲も白だけでなく、何色かを混ぜて色付けをしていく」ことなどについて、校舎の写真を見本にしなが、筆を実際に使って丁寧に教えていました。

小学生は風景画についての技法やコツを学び、高校生は教えることについて貴重な経験を得ることができました。また、終始穏やかな雰囲気の中で、お互いに交流を深め、自然と笑顔が増えていきました。



<小学生の声>

- ・「いろいろとしゃべったりできるのか不安だったけど、絵を描き始めてすぐに『一緒にやろう』と言ってもらったり、分かりやすいアドバイスをもらったりして、風景画は苦手だったけど、上手くかけて少し好きになりました。」
- ・「色ぬりの時に雲の描き方を丁寧に教えてもらって楽しかったです。教えてもらって絵がもっと好きになりました。」

<高校生の声>

- ・「小学生と接してコミュニケーションのとり方も学べたし、伝えることの難しさも知りました。子どもへ教えることに対する見方が変わりました。『教師もいいな〜』と思いました。」



南丹教育局ホームページ

<http://www.kyoto-be.ne.jp/nantan-k/cms/>

南丹教育局

検索

